

# 畜産みやぎ

題字  
宮城県知事 山本 壮一郎  
発行所  
仙台市上杉一丁目2番16号  
財団法人 宮城県畜産会  
電話 (62-9180)  
編集発行人 大石 武一  
定価 1部50円  
印刷所 K K 東北プリント



豚肉料理講習会 (仙台管内)

## もくじ

兼事法の一部改正について……	2
昭和55年度宮城県畜産農協連合会事業計画(案)……	3
畜産物の市況……	4
牧草の系統適応性検定試験の結果について……	4
家畜糞尿の大型醗酵処理施設の稼動について……	6
家畜共済事業の概況について……	8
昭和54年度宮城県乳質改善共励会の実施について……	9
随想 牛肉考……	9
人物紹介……	10
人の動き……	10

# 薬事法の一部改正について

## 宮城県畜産課

現行の薬事法は、医薬品等が人または動物の保健衛生上極めて重要なものであることにかんがみ、その製造から流通にいたる各般において、その適正を図ることを目的として、昭和35年に制定されたものであるが、以後はほとんど改正が行なわれずに今日に至っている。

しかしながら医薬品をとりまく環境は、この間大きく変化してきており、特に昭和36年発生したサリドマイドや、40年頃から発生をみているキノホルムに起因するいわゆる“薬禍”が社会問題として大きく取り上げられ、医薬品の有効性と安全性の確保を図ることが、最重要課題であるとの社会的要請を背景として、本法の一部を改正する法律案が先の第88国会(臨時国会)に提出され成立を見た。

今回の改正は、有効性及び安全性の確保を図ることをその主内容としているが、動物用医薬品についても、その使用に伴う畜産物中への残留問題に対処するための特別規定が設けられたので、特に畜産農家の方に直接関係する法第83条第2項の概要について述べることにする。

### (動物用医薬品の使用の規制)

第83条の2 農林水産大臣は、専ら動物のために使用されるえとが目的とされている医薬品であって、適正に使用されるのでなければ牛、豚、その他の農林水産省令で定める動物(以下「対象動物」という。)の肉、乳、その他の食用に供される生産物で人の健康を損うおそれのあるものについて、中央薬事審議会の意見を聴いて、農林水産省令で、その医薬品を使用することができる対象動物、対象動物に使用する場合における使用の時期その他の事項に関し使用者が遵守すべき基準を定めることができる。

② 前項の規定により遵守すべき基準が定められた医薬品の使用者は、当該基準に定めるところにより、当該

医薬品を使用しなければならない。ただし、獣医師がその診療に係る対象動物の疾病の治療又は予防のためやむを得ないと判断した場合において、農林水産省令で定めるところにより使用するときには、この限りでない。

③ 厚生大臣は、公衆衛生の見地から必要があると認めるときは、農林水産大臣に対し、前二項の農林水産省令の制定または改廃に関し意見を述べることができる。

本条の規定に基づく農林水産省令については、国において、具体的作業を進められているが、現時点は、使用規制の対象となる動物は、この制度が食品の安全性の確保の観点から採られていることにかんがみ、規制の必要性及び法益との関係から所要の限定を行うことが適当と考えられており、具体的には、飼料安全法の規制対象とされている動物が中心になるものと考えられ、また規制の対象となる医薬品は、それが畜産物等に残留すれば、食品衛生法に基づく食品等の規格基準等による禁止規定に抵触するおそれのある抗生物質製剤、抗生物質以外の抗菌性物質製剤等が主体になろう。

また、使用の基準は、これらの医薬品の種類ごとに当該医薬品を使用することができる対象動物の範囲、対象動物に使用する場合の用法、用量、対象動物に使用してはならない期間(使用禁止)について定められることになるものと考えられる。

なお、本条第2項ただし書において、獣医師がその診療のためやむを得ないと判断した場合において農林水産省令で定めるところにより使用するときには、必ずしも基準にならない使用が認められているが、この省令は、獣医師が診療を行った対象動物の飼養者に対して、有害生産物の生産を防止するために必要な医薬品投与後における出荷制限日数等について、書面をもって指示を行って使用する場合等が規定されるものと考えられる。

### 改正法の施行期日について

以上が今回の改正骨子であるが、改正法の施行は、法の公布(54年10月1日)後1年以内の政令で定める日からとされており早ければ55年4月頃から施行となるかも

# ヒドロポンプ

ヒドロポンプが、システム

060

斎藤興業株式会社

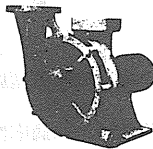
札幌市中央区北5条西20丁目 電話(代)62-1122番

東北出張所

仙台市原町小田原安養寺下7-145

0983

電話57-5348・57-0563



動物用薬品器材のことなら 古い伝統と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市上杉3丁目3-8

## 東北獣医薬品株式会社

TEL ☎ 7330・7338・7339

仙北営業所 登米郡迫町佐沼萩洗1

02202 (2) 2278~9

山形営業所 山形市小石川四丁目9-24

0236 (23) 9909・9900

古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

02293 (4) 2018~9

しれない。

(衛生係 相原)

## 昭和55年度宮城県畜産農業協同組合連合会事業計画 (案)

### 宮城県畜産農協連合会

今や農産物過剰時代に入ってわが国の農政は生産制限と消費拡大策により需給の均衡を図っているが、生産農家は好むと好まず自衛上から自主調整を行わざるを得ない状況にある。畜産もまた酪農、養豚、養鶏と本年度も相変らず厳しく、また肉牛については高値安定を持続しているが、今後実質所得低下から牛肉消費の伸びは余り期待が出来ないことから、価格が低落しないとは保証は出来ない。省エネ時代世界の経済並びに社会情勢の変動から農業事情の見通しは至難であり、その対応策も後手になる現実を直視し農家経済の向上と経営の安定を図り食糧自給度を高めることこそ終極の目的であることを認識し、畜産専門農協としての使命の下に新年度事業を計画する。その概要を紹介したい。

事業を大別して(1) 購買事業(飼料資材の供給、精液の供給)(2) 販売事業(肉畜の共同出荷、肉畜預託、種畜の斡旋、家畜市場開設)(3) 指導事業(和牛乳牛の登録事業、共進会の開催、国県の委託事業)からなる。総取扱事業量は154億5千万円で前年対比116%である。

#### 主な事業の内容は次の通り

**飼料供給事業** 政府操作飼料、各種配合飼料を中心とし、特に肉牛配合については本会預託牛を主体とし、肉質の改善と効率的な給与法を指導し、適正数量の供給と普及を図る。

**精液供給事業** 牛の生産改良の根幹をなすもので、県内需要の90%以上の取扱実績に鑑み取扱精液種雄牛の血統能力を重視した選抜を強めると共に、優良検定済種雄牛の普及を図る。和牛については集団育種推進事業と密接な関係にあり、検定用精液の供給と優秀精液の確保を

図り長期供用に努める。

**肉畜預託事業** 本会独自の設計による肉牛配合(特号)と大麦挽砕、圧扁の組合せ給与により畜連肥育牛の好評を得ている。本年は更に増頭に努めると共に素牛高騰の折個体管理指導を強化し生産性の向上を期す又酪農家の淘汰牛の肥育と乳用肉素牛育成の複合経営を指導する。

**家畜市場の開設** 子牛市場 本県の子牛生産の伸びは目ざましく、本会扱い市場の上場子牛は53年度15%、54年度は前年比17%の伸びで約9,000頭に達する。また、仙北地域の市場施設が狭隘となり、本年度は築館市場の売場新築と電光せり機による公正迅速な取引改善を図る。また佐沼市場のつなぎ場増設も計画中である。更に今後の問題として市場開設日程を連続せしめ購買者の便宜を図るべく関係団体と検討の要あり、更に出場子牛の適正な育成管理の指導を強め市場性の向上を図る。

**子豚市場** 種豚の改良と合せる豚の資質改善と斉一性を図る、又本年度より開設日を日祝祭日と避け翌日開設することとし購買者及び生産者の要望に応える。

**成畜市場** 肉畜流通の部門として大きなウェートを占め肥育事業の振興に貢献しているその公共性から更に取引の充実と近代化を促進する。

**指導事業** 乳牛改良の一環として登録事業、優良乳用種雄牛選抜事業 乳用牛群改良推進事業等の実施については国県関係機関と密接な連携のもとに推進を図る。和牛の改良は登録事業を中心として和牛改良組合の育成強化を図り第2年度に入った肉用牛集団育種推進事業の推進に努める。

**家畜共進会の開催** 第7回全日本ホルスタイン共進会が56.4.15～19前橋市に於いて開催されるため、出品に万全を期す。その準備として第16回県同志会共進会を55.6.20古川に於いて開催、更に第27回県ホルスタイン共進会を55.10.22小牛田に於いて開催する。和牛については第4回全国和牛能力共進会が57.9.16～20福島県で開催される。これに備え、県肉用牛共進会を55.8.11小牛田に於いて開催、更に東日本和牛能力共進会が55.9.19～21岩手県雫石町に於いて開催することに決定し本県出品牛の選定に努める。

(業務課 堀江)



いつもフレッシュ!!

# 明治牛乳

明治乳業

酪農協の牛乳!

# 全酪牛乳

全国酪農業協同組合連合会 (全酪連)

小牛田工場 遠田郡小牛田町牛飼38

TEL 02293-3-2211-3

# 〈畜試便り〉

## 牧草の系統適応性検定 試験の結果について

渡辺 益夫

### 1. はじめに

国が指定する牧草育種試験地において、新しく育成されたオーチャードグラス、イタリアンライグラス、シロ

クローバの有望系統(品種)について、特性や生産力を調査し、地域適応性を検討したので、その成績概要を紹介し参考に供したい。

### 2. 試験のやり方

試験は昭和51年秋から54年秋までの3ヶ年間、場内は場で、1区面積当り6㎡の4反復を用いて実施した。播種期、播種量および播種法：オーチャードグラス(5品種9系統)は150g/aを、白クローバ(2品種9系統)は30g/aをオーチャードグラス(アオナミ)150g/aと混播のかたちで、昭和51年9月22日に、またイタリアンライグラス(3品種7系統)は毎年9月下旬に300g/aをそれぞれ散播した。

1a当りの施肥量(kg)は次ページの表のとおりである。

調査の内容：特性として発芽良否、初期草勢、出穂、再生、耐寒性、倒伏、病害虫等について調査し、生育では草丈被度を、収量の面では生草重、風乾重を調査した。

調査の結果 風乾収量だけの成績では別表のとおり。

## 畜産物の市況

種目	規格	単位	価格	摘要
卵		1 kg	296円	卸売価格 2月平均
ブロイラー	A級	と体1kg	269	"
豚肉	上	枝肉1kg	582	"
	中	1kg	519	"
牛肉	和牛メス	上	2,174	"
	" スキ	上	2,158	"
	" スキ	中	1,866	"
	乳牛メス	中	1,528	"
" スキ	中	1,469	"	
和牛子牛		1頭	372,741	3月10日 小牛田市場
子豚		"	28,192	3月25日 "

### 3. 結果のあらまし

オーチャードグラス：3ヶ年間の風乾収量をみると、那系では、17号、15号、が他の品種よりも優ったが、両品種間の差は僅少であった。北海系では標準品種(アオナミ)と比較して何れも低収であり、特に早ばつに弱い傾向を示した。

シロクローバ：第1年次の風乾収量では何れも標準品種(キタオオハ)より下廻った。第2年次に早ばつに見舞われ低収であったが、3年間の風乾収量では標準品種に対比して、東北9号が高収を示し、次に東北11号、4号、が優っていた。

イタリアンライグラス：短期型の高系は標準品種(ワセアオバ)と対比して、第1年次に上廻る品種もみられたが、3ヶ年間の合計では何れも標準品種よりも低収であった。長期型の友系では標準品種(ヒタチアオバ)に比較して収量が低く、有望と思われる品種はなかった。

卵、ブロイラー、豚肉、牛肉価格…… 県経済連調べ  
和牛子牛、子豚…… 県畜連調べ

## 飼料は のみ

採卵鶏用配合飼料  
ブロイラー用配合飼料  
肉牛用配合飼料  
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号  
TEL 石巻 02252 (5) 4171~4

## 畜産公害を追放する

家畜糞尿処理工事  
さく井工事 畜舎工事  
ポンプ工事 設計・施工  
水処理工事

株式会社 北辰技術

仙台市鉄砲町18番地  
電話 (0222) (93)2461

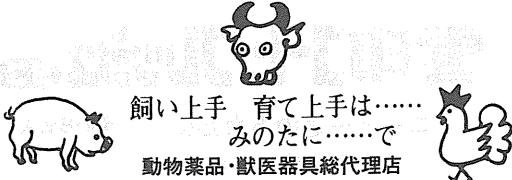
1 a 当りの施肥量 (kg)

牧草名	基肥			追肥			摘 要
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	
オーチャードグラス	1.0	1.2	0.86	2.0	1.0	2.0	基肥は草地化成4号 追肥は尿素 複合燐加安を使用した。 追肥は早春および各刈取後に分肥 した。
イタリアンライグラス	0.8	0.97	0.8	〃	〃	〃	
シロクロバ(混播)	0.7	0.85	0.6	〃	〃	〃	

年次別風乾収量 (kg/a)

草種	系統(品種名)	52年	53年	54年	計	対標比	備 考
オーチャードグラス	那 系 15 号	134.8	105.9	119.5	360.2	104	
	〃 16 〃	136.6	101.1	111.9	349.6	101	
	〃 17 〃	140.9	99.0	129.9	369.8	106	
	〃 18 〃	128.6	92.6	117.4	338.6	97	
	北 海 8 〃	124.8	92.4	127.3	344.5	99	
	〃 9 〃	129.8	85.3	113.9	329.0	95	
	〃 10 〃	125.2	92.0	111.5	328.7	95	
	〃 12 〃	123.6	93.1	118.3	355.0	96	
	〃 13 〃	116.5	86.6	109.0	312.2	90	
	ア オ ナ ミ	136.9	102.6	112.2	351.7	100	標準品種
フ ロ ー ド	129.9	95.3	108.4	333.6	96		
フ ロ ン テ ア	130.8	88.4	106.7	325.9	94		
キ タ ミ ド リ	128.1	95.3	124.2	347.6	100	標準品種	
シロクロバ	東 北 3 号	95.5	74.8	86.9	257.2	97	
	〃 4 〃	99.3	75.9	101.0	276.2	104	
	〃 5 〃	100.9	79.3	93.7	273.9	103	
	〃 6 〃	92.9	70.0	93.5	256.4	96	
	〃 7 〃	92.7	71.2	94.3	258.2	97	
	〃 8 〃	92.0	78.0	100.5	270.5	102	
	〃 9 〃	109.4	85.0	94.0	288.4	108	
	〃 10 〃	90.4	83.6	91.1	265.1	100	
	〃 11 〃	99.4	75.9	100.6	275.9	104	
	キ タ オ オ ハ	114.2	71.7	80.1	266.0	100	標準品種
ニュージーランドホホワイト	92.7	73.6	100.3	266.6	100		
イタリアンライグラス	高 系 12 号	131.7	128.8	-	260.5	-	
	〃 13 〃	131.0	145.0	124.7	400.7	85	
	〃 14 〃	123.0	131.4	126.6	381.0	87	
	〃 15 〃	112.8	124.5	114.8	352.1	79	
	ワ セ ア オ バ	119.4	148.4	146.1	413.9	100	標準品種
	テ ト リ ナ イ ト	-	142.5	115.0	154.0	-	
	友 系 8	136.5	159.9	77.4	373.8	99	
	〃 9	139.5	156.9	70.1	366.5	92	
	〃 10	139.9	144.6	71.9	356.4	44	
	ヒ タ チ ア オ バ	143.9	155.5	76.1	375.5	100	標準品種

(研究第3部研究員)



飼い上手 育て上手は……  
みのたに……で  
動物薬品・獣医器具総代理店  
株式会社 美濃谷

こくておいしい大型びん……

# 森永 ハイグランド牛乳

## 宮酪乳業株式会社

本店 山形市蔵王成沢字町浦491~2 TEL033121  
 山形店 山形市山田字羽黒堂5番216 TEL034306  
 仙台店 仙台市山田字羽黒堂5番216 TEL034306  
 鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57~1 TEL0240963  
 いわき店 いわき市常磐湯本栄田3 TEL0246440300

仙台市一番町2-4-28  
 TEL(代)23-9101

# 東 西 南 北

## 家畜糞尿の大型発酵処理施設 の稼動について

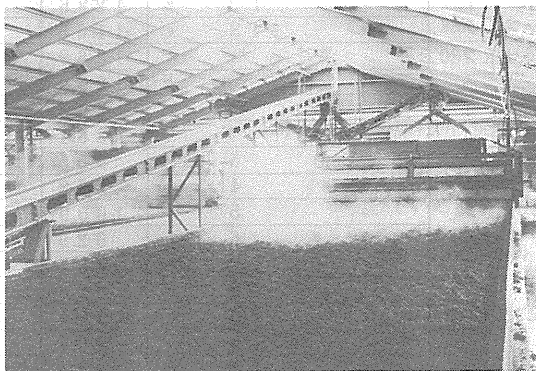
蔵王町円田地区は蔵王町で最も酪農の盛んな地域である。乳牛は昭和の初めより飼養されていたが、酪農が本格的になったのは昭和30年頃からであり、経営規模が拡大されるにつれ、昭和45年度に国営パイロット事業(計画のみ)が調査されたのを始めてとし、昭和48、49年度には農業公社牧場設置事業、昭和49年度飼料作物生産利用合理化事業等、各種補助事業を積極的に導入し、家畜保護施設、草地造成、作業機、貯蔵施設等酪農の生産基盤がほぼ整備された、今回、多頭化に伴う家畜排泄物による公害発生を未然に防止し、酪農地域として総合的な発展を期するため、地区再編農業構造改善事業を実施中であるが、その一環として集落環境整備事業で大型の家畜糞尿処理施設を設置したので、その概要を紹介する。

### ★事業の概要

- (1)事業実施主体 円田家畜糞尿処理施設利用組合
- (2)参加農家 8戸(公社牧場11戸のうちの8戸)
- (3)対象頭数 乳牛400頭
- (4)総事業費 85,520千円(国42,760千円,県7696千円)  
町8,555千円,自己負担26,509千円)
- (5)事業内容 DS式処理施設1式 バキュームカー-4t1台  
運搬車(ダンプカー)1台 マニースプレッター1台  
トラクター76PS1台



★ 処理フローシート  
酪農家8戸よりバキューム車により搬入されて来た糞尿は貯溜調整槽に搬入され、約3日間貯溜される。その間に曝気処理を受け可溶化されると共に、臭気が分解軽減され、定量ずつ発酵施設に送り込まれる。前記の糞尿は発酵処理された水分調整並びに植種のためのコンベアによる返送糞の上に投入され、水平移送式発酵機により攪拌混合され移送される。水分が約65%に調整されると移送される間に発熱発酵を始め、約7日間で第一次発酵を完了する。床面からは発酵作用を促進させるためと蒸発水分を除去するために適度の送気を行う。水平発酵床末端に移送されてきた一次発酵完了糞は、発酵熱、天日乾燥、送気による蒸散により含有水分は約55%に減少する。一部発酵糞は、水分調整用に返送され、残りの糞は約5日間堆積され、未発酵部が出来ないように最終発酵させる。堆積発酵糞は適時シャベルローダーにて運搬車に積込まれ、堆肥として、各需要家に送られる。



### 注) 処理能力

- 1) 一日当り流入糞尿 成牛400頭分×31ℓ = 12.4ト/日
- 2) 堆肥発酵施設 (水分87.75%)  
幅4m 長さ35mのもの4列  
糞尿量 40ト/日(水分65%)  
(流入糞尿12.4ト+水分調整用  
返送発酵28.2ト/日)  
一日当り発酵糞の生産量2.5～3.5ト/日

### ★所見

本施設はダッシュ工業(株)により設置された施設であるが、大家畜とくに乳牛の全糞尿量を排泄された状態の

## 畜産の総合商社

- 畜舎消毒装置 ミヤノスプレー
- 送風機 CAファン
- FRP(一輪車用) ミヤノーバケット



株式会社 **ミヤノ一商事**

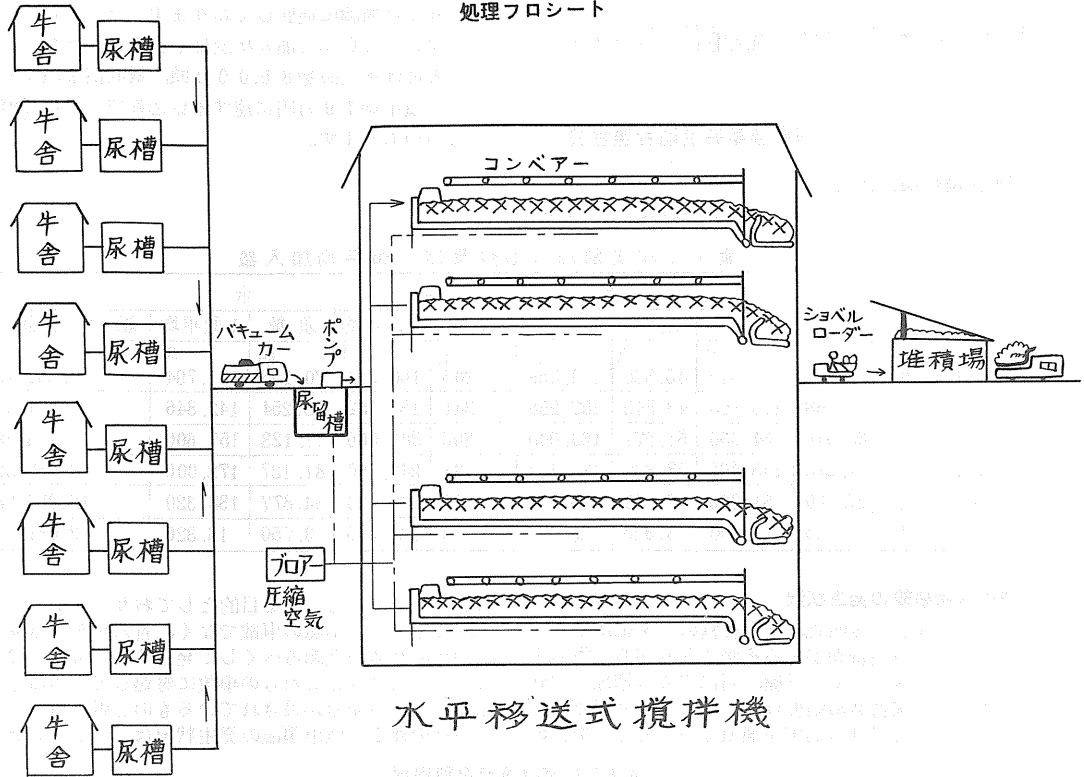
泉市南光台四丁目3番16号  
TEL (0222)71-1054~5

## 雪印 コーヒーフレッシュ

コーヒー通のあなたに 6ml・8個入  
北海道から・・・



処理フローシート



水平移送式攪拌機

ま、しかも大量に発酵処理する施設としては全国で初めてのただ一つの施設であり、テストケースでもあったが、現在順調に稼働しており、しかも種々の特徴を有しているので稼働の実態を併せて述べる。

1. 熱源を必要としない

水分を65%程度に調整することにより発酵が始まり4~5日で70℃前後に上昇する発酵熱とビニールトンネルを通しての太陽熱およびブロアーによる床面送気により水分が蒸発散される。

2. 水分調整剤を必要としない

排泄全糞尿(水分85~90%)は一次発酵処理された乾燥糞(水分55%)と攪拌混合され水分調整される。

3. 糞尿全量をそのまま投入出来る

排泄され自然流下式により貯溜する糞尿をバキュームカーにより汲み取り搬入する。

4. 自動化のため人手を必要としない

精密な電気回路を有しており季節による糞尿の変化に応じて処理工程を選択すれば、ほぼ完全自動化が可能である。但し発酵状況の良悪について時々確認の必要があると思われる。

最後にこの大型発酵処理施設が全国初めてのテストケースゆえに順調に稼働するまでに数ヶ月を要した点、そしてその原因が水分調整を適正に行わなかった点にあることを附記しておきたい。したがって糞尿の水分含有量を一定に保つ飼養管理と季節による糞尿の性状の変化に応じ適時に適正な電気回路を設定することが肝要であると考えられる。

(大河原家畜保健衛生所 佐藤武夫)

牧場用柵には 強く美しくスマートな

東伸製鋼牧柵を!

製造元 東伸製鋼株式会社営業所  
 仙台市一番町二丁目7-5 TEL 0277053  
 販売元 塚本商事機械株式会社  
 仙台市花京院二丁目1 TEL 627771  
 代理店 本山振興株式会社  
 仙台市昭和町6番10号 TEL 046221

システム農業をクリエイイトする

STAR

タフで働きものの  
 Mr 3000にチビの  
 Mr 2000が新登場



THB 2000

スター農機株式会社

仙台出張所 983 仙台市福田町2丁目4-20 佐正ビル内  
 0222-58-7301

# 家畜共済事業の概況について

## 宮城県農業共済組合連合会

賜わり年々順調に進展しておりますこと厚くお礼申し上げます。ここ数年の加入状況は(表1)のとおりで、本年度末には加入頭数85,000頭、総共済金額160億円、1頭平均19万円に達する見込みで、年々補償も充実しつつあります。

### 1. 家畜共済の加入状況

本県の家畜共済事業も関係者皆様のご指導とご協力を

(表1) 年次別加入頭数及び1頭平均加入額

年度	乳牛		肉用牛		馬		合計		総共済金額 円
	頭数	1頭平均 円	頭数	1頭平均 円	頭数	1頭平均 円	頭数	1頭平均 円	
昭和50年度	23,920	114,612	45,880	140,559	305	160,918	70,105	131,794	9,239,461
昭和51年度	24,468	123,803	48,545	152,258	241	181,452	73,254	142,846	10,464,070
昭和52年度	25,646	134,000	51,271	169,000	206	201,000	77,123	157,600	12,153,831
昭和53年度	27,275	145,400	53,698	185,130	164	249,700	81,127	172,000	13,952,823
昭和54年度見込	27,700	151,800	57,023	205,200	154	518,000	84,877	188,320	15,984,034
前年比	425	6,400	3,325	20,070	△10	268,300	3,750	16,320	2,031,211

### 2. 死亡廃用事故の発生状況

近年は家畜飼養の多頭化、肥育経営の大型化にともない、個体ごとの飼養管理がおろそかになりがちで省力化の悪い面が目立っている。死廃、病傷事故も増加の傾向にありますが、家畜共済制度はこのように畜産農家が不慮の事故によって受ける損害を補償することと、損害の

未然防止をはかることを目的としておりますが、発生する病類を見ると不慮の事故でなく、省力化をはき違えた省力化のため当然起るべくして発生す事故も見受けられる。いづれにせよこれらの事故に対処している農業共済は制度本来の使命が果されているものと思われます。

最近の死亡、廃用事故の発生状況は(表2)のとおり

(表2) 死廃事故年次別内訳

年度	乳牛			肉用牛			馬			計			45年対比率	
	頭数	支払共済金 円	1頭平均 円	頭数	支払共済金 円	1頭平均 円	頭数	支払共済金 円	1頭平均 円	頭数	支払共済金 円	1頭平均 円	頭数	支払額
45	740	40,825,161	55,169	564	28,062,229	49,755	69	6,268,220	90,840	1,373	75,155,590	54,738	100	100
50	931	32,005,205	88,292	980	106,338,865	108,560	24	3,182,833	132,618	1,935	191,576,903	99,006	140.9	254.9
51	856	86,779,177	101,378	984	114,771,572	116,638	10	1,299,000	129,900	1,850	202,849,749	109,649	134.7	269.9
52	1,031	113,254,010	104,849	1,079	137,884,232	127,789	14	2,307,000	164,786	2,124	253,445,242	119,324	154.7	337.2
53	1,199	140,499,877	117,180	1,298	184,483,765	142,129	18	2,307,104	128,172	2,515	327,290,746	130,135	133.2	435.5
前年比	168	27,245,867	12,331	219	46,599,533	14,340	4	104	△36,614	391	73,845,504	10,811	28.5	98.3

画期的な家畜ふん尿処理用

めづまりのない

## 多板式固液分離機

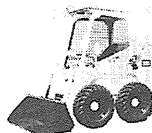
- 生ふん脱水の決定版
- 公害防止に貢献
- 省力化に威力



# 株式会社 五十嵐商会

仙台市中央三丁目5番14号

## TCM東洋運搬機



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。畜産農家の近代化に作業の省力化に大きく貢献します。豊富なアタッチメント。

### TCM東洋運搬機株式会社 東北ティー・シー・エム株式会社

983 仙台市日の出町3丁目9-35  
電話 0222-95-5517・5511



(表3) 病傷事故年次別発生件数、支払額

項目 年度	乳牛			肉用牛			馬			計			45年対比率	
	頭数	支払共済金	1頭平均	頭数	支払共済金	1頭平均	頭数	支払共済金	1頭平均	頭数	支払共済金	1頭平均	頭数	支払額
45	22,625	67,608,160	2,988	9,700	20,727,215	2,136	635	1,781,095	2,804	32,960	90,116,470	2,734	100%	100%
50	23,608	132,246,860	5,601	12,259	55,739,910	4,547	282	1,544,995	5,478	36,149	189,531,765	5,243	109.6	210.3
51	25,129	154,194,860	6,136	12,915	62,817,465	4,864	196	1,044,795	5,326	38,240	218,057,120	5,702	116.0	241.9
52	27,148	179,607,840	6,616	13,582	71,233,025	5,245	187	1,076,975	5,754	40,917	251,917,840	6,157	124.1	279.5
53	28,020	230,348,860	8,221	15,316	99,086,620	6,469	176	1,206,100	6,853	44,512	330,641,580	7,423	135.0	366.9
前年比	872	50,741,020	1,605	1,734	27,353,595	1,224	△11	129,125	1,099	3,595	78,723,740	1,271	10.9	87.4

で昭和50年、51年と減少の傾向にあったが、昭和52年から増加しつつあります。病類別に見ると、乳牛では、産前(後)起立不能症、乳房炎、骨折、脱臼が多く、肥育牛では、鼓張症、肺炎、尿石病、骨折、脱臼となっている。

死亡廃用事故の55%は死亡事故でその40%は治療を受けないまま死亡しており、牛の健康状態の観察不足が目立っている。

これらの事故低減と飼養管理の改善をはかるため、各地区毎に関係機関団体等の協力を得て設置した家畜事故対策協議会が中心となって地域の実態に対応した指導を行なって成果をあげておりますが、畜産指導の関係者皆様の積極的なご指導とご協力がなければこれ以上の事故低減はむづかしいものと思われまます。

3. 昭和55年度の事業推進について

イ. 家畜共済の引受計画

大家畜は88,000頭の加入を目標とし、乳牛の加入率を向上させるため未加入農家の解消と、育成乳牛の引受拡大をはかりたい。

未加入金額については、補償の充実をはかるため、



自給飼料生産利用のために

簡易サイロ ベコフレンド

- FRP製なのでサビません。
- 基礎がいらぬ移動設置式です。
- 詰め込み有効容積は10立米です。
- 養豚用・肉牛用の粗飼料貯蔵にも最適。

農協・宮城県経済連

1頭平均の加入額を乳用牛は16万5千円、肥育牛20万円、その他の肉用牛25万円以上として加入をすすめる。

ロ. 家畜の損害防止事業

- 特定損害防止事業を2,600万円の予算で実施する。
- 家畜防疫車を高度に活用して畜舎内外の消毒を積極的に行う、購入薬剤費に対し補助金を交付する。
- 家畜防疫車を増設する組合等に補助金を交付する。
- 削蹄技術者養成講習会を開催して技術者増員をはかる。
- 家畜の保健と予防に必要な薬剤等を交付して事故防止と保健衛生に関する認識を深める。予算18,000万円
- 家畜事故対策協議会の事業継続し、事故多発農家の特別巡回指導を行なうほか、地域毎に多発疾病の防止対策を講ずる。

以上のほか本会家畜診療所はあらゆる機会に飼養管理の指導等を行ない事故低減につとめることにしておりますが昭和55年度も従前以上に関係皆様方のご指導とご援助をお願い申し上げます。

(家畜課 加藤)



昭和54年度宮城県乳質改善共励会の実施について

宮城県畜産課

昭和54年度(第23回)宮城県乳質改善共励会表彰式が去る3月18日、宮城県農業共済ビルで行われた。今年度も昨年と同様、共励会の期間を4月~12月としたこと、第2部(路線の部)で規格外が1回でも発生すれば、褒賞の対象としないこととしたことは前年と同様である。

審査項目は細菌数、無脂固型分、抗生物質、食品衛生法に基づく行政措置の四項目とした。第1部の生産者団体における月別平均細菌数は、4、5月は100万を超えたものの、6月以降は100万以下となり、極めて良好な成績となっている。特に6月からは著しい向上が認められ、400万を超える集乳路線は全体の3%以下であり、前回の9%と比較すると顕著な向上の跡がみられた。第2部の集乳路線の部については、細菌数50万以下の路線が全体の6割を占め、県の目標とした100万以下のものは、全体の8割を超えるなど著しい改善のあとがみられた。無脂固形分についても8.4%以上が集乳路線全体の約5割、目標値の8.2%以上は集乳路線の9割と大部分が目標を達成することが出来た。共励会期間中を通じ、目標値を維持出来たのは157集乳路線中、細菌数で44、無脂固形分で108、両者を維持出来たのは38集乳路線であり、今後一層の努力が望まれる。第3部については、各酪農団体において、多年に亘り乳質改善に尽された9人の方々の功績をたたえ表彰した。審査を通じて言えることは、乳質全般において前回と比べ大幅に改善されているということであり、前回細菌数で100万以下が全体体の5割程度であったものが、今回は9割程度に、集乳所単位の夏期の無脂固形分8.2%以上が前回は2割程度であったものが、今回は8割以上と、乳質の著しい向上が認められた。このことは、生産者をはじめ関係機関の不断の努力の賜であろう。今後、宮城県産牛乳としての名声を高めるため、55年度も関係各位の一層の精進が望まれる。

(酪農係 粕谷)

### 乳質改善共励会受賞者

#### 宮城県乳質改善共励会長賞

##### 第一部

最優秀賞 迫町 登米郡酪農振興農業協同組合

優秀賞 仙台市 仙台酪農農業協同組合

〃 大河原町 蔵王酪農農業協同組合

優良賞 小牛田町 宮城県酪農農業協同組合連合会

〃 本吉町 本吉郡酪農農業協同組合

〃 仙台市 宮城県経済連

##### 第二部

最優秀賞 丸森町 蔵王酪農農業協同組合 真壁2路線

優秀賞 色麻町 宮城県経済農業協同組合連合会 色麻B路線

〃 中新田町 宮城県酪農農業協同組合連合会 伊藤2路線

優良賞 白石市 蔵王酪農農業協同組合 鈴木2路線

以下14路線

##### 第三部 功績賞

角田市 蔵王酪農農業協同組合 桜支部 伊藤 慶也

川崎町 仙台酪農農業協同組合 川崎支部 吉田一二三

泉市 宮城県経済農業協同組合連合会 庄司 忠夫  
 泉市中央農業協同組合  
 松山町 宮城県酪農農業協同組合連合会 菅野 辰夫  
 松山支部  
 涌谷町 遠田郡酪農農業協同組合 阿部 三男  
 の岳支部  
 志波姫町 栗原郡酪農農業協同組合 菅野 武治  
 梅崎支部  
 中田町 宮城県酪農農業協同組合 浅水支部 佐々木功一郎  
 歌津町 本吉郡酪農農業協同組合 歌津支部 及川 俊夫  
 米山町 登米郡酪農振興農業協同組合 米山支部 中沢 新

#### 宮城県知事賞

##### 第一部

最優秀賞 迫町 登米郡酪農振興農業協同組合

##### 第二部

最優秀賞 丸森町 蔵王酪農農業協同組合 真壁2路線

#### 宮城県生乳販売農業協同組合連合会長賞

##### 第一部

最優秀賞 迫町 登米郡酪農振興農業協同組合

##### 第二部

最優秀賞 丸森町 蔵王酪農農業協同組合 真壁2路線

#### 宮城県酪農協会会長賞

##### 第一部

最優秀賞 迫町 登米郡酪農振興農業協同組合

##### 第二部

〃 丸森町 蔵王酪農農業協同組合 真壁2路線

#### 宮城県乳業協会会長賞

白石市 山田乳業株式会社

女川町 木村牛乳

#### 全国乳業協会会長賞

第一部 迫町 登米郡酪農振興農業協同組合

第二部 丸森町 蔵王酪農農業協同組合 真壁2路線

#### 特別賞 宮城県生乳検査協会会長賞

最優秀の部 迫町 登米乳業株式会社(工場)

優秀の部 白石市 蔵王酪農農業協同組合 三住集乳所

〃 迫町 宮城県酪農農業協同組合 佐沼集乳所

#### 宮城県家畜畜産物衛生指導協会会長賞

色麻町 宮城県経済農業協同組合連合会 色麻C路線



いま豚肉が生産過剰のため、その需給安定が当面の大きな課題となっているが、3~4年前は牛肉問題が国民の一大関心事となって連日のように新聞、テレビ等のマスコミが関連記事を取り上げ、週刊紙は特集を組み、国会の場でも集中的に論議された。お蔭で牛肉需要は他の畜産物より高い水準で伸びており、牛肉価格は安定的に推移している。先般53年度の食料需給表が公表された。肉類の1人1年当りの消費量は前年より4.9%増加して21.3kgで、そのうち牛肉が3.3kgで前年比10%増、豚肉8.7kgで5%増、鶏肉7.1kgで9%増となっており、牛肉消費量は肉類全体の16%とまだ低いが、最近の伸びは鶏肉や豚肉の伸び率を相当上回って加速化している。しかも牛肉は嗜好性が強く、欧米に比べて消費水準が著しく低いうえに需要の所得弾力性がきわめて高いので今後とも所得の向上に伴って長期に亘り高い伸び率で増加して

いくものと見通しされている。しかしながら生産の伸びは需要の伸びに追いつかず、国内自給率は70%台で輸入牛肉への依存率が高まっており、54年度の牛肉輸入割当枠は13万2,000tとなり、過去最高となっている。牛肉輸入については、つい先年までアメリカ、濠州等の生産国から激しい輸出攻勢がかけられたことは記憶に新しいことである。最近では全くその影をひそめ、国際需給事情が一変して、ひっ迫状態となってきたようである。予測されたことではあるが、これからは必要な時期に必要な量を自由に輸入できない条件が次第に厳しくなってくるだけに何よりも国内生産の増強を図ることが緊要になってきている。

ところで日本の牛肉価格は外国に比べて非常に高いことが問題にされており、消費者の不満が強まっていることは周知のとおりである。牛肉問題華かな頃、ある新聞に「牛肉の高さを説いてクビが飛ぶ」という大きな見出しで、ある業界紙の記者が食肉業界の体質を批判し牛肉の高いことを解説した本を出したためにクビになったことが報道されたり、文芸春秋にも「高い牛肉はモウ沢山だ」といった記事が載ったり、とにかく賑かで議論白出といったところであった。53年9月の河北新聞の記事に円高ドル安(1ドル190円台)に関連して世界主要都市で特派員が円換算で物価調査したのが載っていたが、その中にステーキ用牛肉が東京で100g950円するのに対し、ニューヨークで150円、ロンドン210円・ボン190円・モスクワ56円と報じられており、肉質は別としても、違いの大きさをあらためて知らされた思いであった。かつて牛肉は豚肉より安く出回って大衆肉とされていた。昭和30年頃の牛肉卸売価格は上物でK当り180円に対し、豚肉は270円台であったが、その後需要が増えるとともに牛が肉専用となり、加えて牛肉消費の方向がスキヤキによって代表されるように脂肪交雑度を重視するようになったことが牛肉価格を一層上昇させる一因となり、一般に牛肉は高級食品というイメージを強くしてきた。大体日本の牛肉消費のパターンはスキヤキ、牛丼、シャブシャブ、煮込みといった水を使う料理が主であったので、どうしても熱によって肉の蛋白質凝固を防ぐためにも脂肪の入ったものでないといふと美味しくない。このようなことから和牛は日本の料理法に適するように改良されてきたともいえる。最近ある新聞社の調査によると、代表的な料理方法の順序では、「焼肉・バーベキュー」がトップで84%、次が「スキヤキ・シャブシャブ」22.8%以下「シチュー・カレー」、「ハンバーグ」、「ステーキ」で、「サシ好み」も3分の1であったと出たが、以前と大分消費傾向が変わってきていることをしめている。

我が国の養鶏や養豚は生産資材の大部分を輸入に依存しているのに、国際相場なみの価格水準で卵や肉を生産している。ところが肉牛となると素牛は国産品で、飼料も養豚、養鶏からみれば輸入依存度が低いのに、なぜ牛肉は外国より異常に高いのかといった素朴な疑問が出されたことがあった。その理由はいろいろあげられると思う。日本人の牛肉嗜好性、複雑化している流通機構、生産規模の零細性、素子牛高等々あるが、何とんでも肥育牛の生産費調査にみるように、濃厚飼料依存度が40年当時53%であったものが、現在では90%近くに高まり生産コストアップの要因となっていることであろう。

更に「サシ」を重視した肉質向上を旨とす余り、肥育期間が長期化し、出荷月令もかなり進み、出荷体重もかなり大きくなっていることである。しかもこの期間に高エ

ネルギーの濃厚飼料を多給するから必然的に肥育の生産効率が悪くなる。これからは穀類を沢山使うやり方は、資源的にも価格的にも次第に許されなくなっていくに違いないから現行の濃厚飼料多給方式から粗飼料利用への転換が大きな課題であり、特に最近牛肉消費の大衆化によって赤肉への需要が増えているなど嗜好の変化に対応するためにも安い牛肉を生産する肥育のあり方を再検討する必要がある。

また、日本の牛肉生産の現状は乳用種が全体の65%を占めるまでに至っており、牛肉生産量と牛乳生産量が高い相関関係にあるので、いまや乳牛飼養頭数が牛肉生産量を左右するといっても過言ではない。乳牛頭数が増加傾向にあるときはともかくとして、減少する場合には牛肉生産量も必然的に減少することになり、牛肉生産は不安定にならざるをえないと考えられる。酪農はいま牛乳の生産調整下にあつて、その伸びは鈍化しているし、乳用雄子牛の肥育仕向けも100%近くになっているとすれば、肥育素牛供給は限界にあるとみてよい。従って今後の牛肉増産のためには牛肉生産を本来の目的としている専用種の生産振興を早急にしかも強力に推進しなければならないと思われる。

我々畜産技術者は、ともすると生産段階へ傾斜しがちであるが、生産・流通・消費・牛肉輸入といった全体像への確固たる見通しをもつことが必要と思われる。

(大河原家畜保健衛生所長 星 卓二)

## 人物紹介

### 春日 博氏

(現在・石巻埠頭サイロ株式会社・常務取締役)



大正7年11月8日生

戦雲漂う昭和11年3月、宮城県農学校獣医科を卒業された春日さんは、人生の第一歩を朝鮮に求め、彼の地の畜産奨励に若き日の情熱を傾けられた。

昭和14年には、20代の若さで畜産事情視察のために濠州に出張を命ぜられたが、雄大な先進国の畜産を目の当たりにして、深い感銘を受けられたという。

帰国されてまもなく宮城県に勤務、経済部農務課を振り出しに、伊具地方事務所、畜産課、種畜場(白石)、大崎家畜保健衛生所長、畜産課技術補佐、農業試験場畜産部長、種畜場長、初代畜産試験場長、さらには農政部技術参事兼畜産課長と数々の要職を歴任、本県畜産の発展に多大の貢献をされた。

昭和52年3月、県をご勇退後は、乞われて石巻埠頭サイロ株式会社常務取締役の要職にあるが、就任と同時に居を石巻に移され、現役時代を彼が精力的な活躍をされている。

春日さんは、己を律するに極めて厳しく、しかも大変な勉強家である。そして何にもまして仕事を優先する人であるが、春日さん程部下思いで人情味溢れる人も私は知らない。

今後の御健勝を心からお祈りするものである。

(丹野)

宮城県

4月1日付

退職(3月31日付) 大河原家畜保健衛生所技術主幹 村上 盛  
 " ( " ) 畜産試験場業務員 伊藤 孝一

新	旧	氏名
畜産課技術補佐(草地開発担当)	大河原土地改良事務所技術主幹村田ダム建設出張所長	大沼 哲雄
" 技術主幹兼酪農係長	酪農係長	粕谷 光
" " 畜産環境整備係長	築館家畜保健衛生所指導課長	伊藤 隆康
" 主査	土木部建築宅地課主査	山木 たみ
" 技師	迫家畜保健衛生所技師	佐々木秀夫
大河原家畜保健衛生所指導課長	岩出山牧場技術主任	広瀬 康夫
" 技術主査	迫家畜保健衛生所技術主査	加茂 孝夫
古川家畜保健衛生所次長	大河原家畜保健衛生所技術主幹兼指導課長	日下 義光
" 技術主査	畜産試験場研究員	宇和野克己
築館家畜保健衛生所技術主幹兼防疫課長	築館家畜保健衛生所防疫課長	三浦 智文
" 指導課長	肥飼料検査所技術主任	菅野 隆一
" 技術主査	古川家畜保健衛生所技術主査	高橋 和幸
迫家畜保健衛生所技術主査	石巻家畜保健衛生所 "	堂本 島男
" 技師	(新採)	中川 正裕
石巻家畜保健衛生所技術主査	築館家畜保健衛生所技術主査	斉藤 喜平
畜産試験場研究第三部主任研究員兼畜産公害科長	畜産試験場研究第三部畜産公害科長	佐藤 島夫
" " 養鶏科長	大和農業改良普及所技術普及課長	荒川 和彦
" 研究員	畜産課技術主査	佐々木英夫
" 主事	古川出納事務所	萩原 宗夫
" 技師	農業実践大学校畜産学部	及川 恵寿
" "	(新採)	渡部 正樹
" 農場業務主任	畜産試験場農場業務員	原 正義
岩出山牧場技術主任	古川家畜保健衛生所技術主査	佐々木義男
" 技術主査	岩出山牧場技師	三浦 正行
農業実践大学校畜産学部長	畜産課技術主幹兼畜産環境整備係長	鶴田 孝治
耕地課技術補佐	" 技術補佐	斉藤 二郎
中新田農業改良普及所技術主幹兼教育生活課長	畜産試験場研究第二部主任研究員兼養鶏課長	伊藤 寿
水産林業部漁港課主事	畜産課主事	伊達多喜子
古川商工労働事務所 "	畜産試験場畜産課主事	佐々木和好
肥飼料検査所技術主査	" 研究員	渡辺 益夫

宮城県畜産会 4月1日付  
 退職(3月31日付) 常勤畜産コンサルタント 守屋 春男

常勤畜産コンサルタント 畜産コンサルタント補 菅原 和宣

宮城県経済連 4月1日

古川支所長 畜産部次長兼飼料課長 及川 賢司  
 畜産部飼料課長 " 飼料課長補佐 伊藤 寛